



2021年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月6日

上場会社名 株式会社エムティーアイ 上場取引所 東
 コード番号 9438 URL https://www.mti.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前多 俊宏
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 (氏名) 松本 博 (TEL) 03-5333-6323
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け(オンデマンド配信))

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の連結業績(2020年10月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	19,504	0.1	1,796	△11.0	1,269	△35.3	△1,094	—
2020年9月期第3四半期	19,492	△4.6	2,017	△10.9	1,961	△33.5	1,780	△17.0

(注) 包括利益 2021年9月期第3四半期 △1,025百万円(-%) 2020年9月期第3四半期 1,425百万円(△39.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2021年9月期第3四半期	円 銭 △20.02	円 銭 —
2020年9月期第3四半期	32.58	32.58

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2021年9月期第3四半期	百万円 31,944	百万円 21,652	% 55.1
2020年9月期	30,547	21,510	62.7

(参考) 自己資本 2021年9月期第3四半期 17,605百万円 2020年9月期 19,166百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2020年9月期	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 —	円 銭 8.00	円 銭 16.00
2021年9月期	—	8.00	—	—	—
2021年9月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の連結業績予想(2020年10月1日~2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,500 ~26,500	△2.2 ~1.6	2,100 ~2,500	△16.2 ~△0.3	1,600 ~2,000	△23.2 ~△4.0	△1,000 ~△600	—	円 銭 △18.27 ~△10.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年9月期3Q	61,219,100株	2020年9月期	61,144,600株
2021年9月期3Q	6,488,680株	2020年9月期	6,511,616株
2021年9月期3Q	54,687,183株	2020年9月期3Q	54,644,167株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績の見通しは、当社が本資料発表時点で入手可能な情報による判断、仮定および確信に基づくものであり、今後の国内および海外の経済情勢、事業運営における内外の状況変化、あるいは、見通しに内在する不確実な要素や潜在リスク等、さまざまな要因により実際の業績が見通しと大きく異なる結果となり得ることがあります。なお、リスクや不確実な要素には将来の出来事から発生する予測不可能な影響等も含まれます。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

証券アナリスト・機関投資家向けの当第3四半期決算説明会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため会場での開催を見送りますが、2021年8月10日(火)に説明会動画(オンデマンド配信)および説明会資料を当社ホームページへ掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2021年9月期 第3四半期の概況 (2020年10月1日～2021年6月30日)

当社グループの当四半期において、新型コロナウイルス感染症拡大の長期化が日本経済に大きな影響を及ぼしている状況にあります。同感染症拡大の当社グループの連結業績への影響は軽微な状態であり、将来の持続的な成長に向けてコンテンツ事業およびヘルスケア事業において様々な取り組みを行いました。

コンテンツ事業では、携帯ショップ経由の新規入会者数が低調に推移する中、需要の高いセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の新規入会者獲得を拡大させるとともに、コミック配信事業者向けへのオリジナルコミック作品の月間提供数を拡大させました。

ヘルスケア事業では、診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大を図るべく、また自治体向けに母子手帳アプリ等の子育て関連ソリューションの拡販を行うべく、協業先の株式会社メディパルホールディングスとの連携を行いました。

これらのことにより、売上高は19,504百万円（前年同期比0.1%増）、売上総利益は14,356百万円（同1.3%増）となりました。

営業利益については、売上総利益が増益となりましたが、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数の拡大に向けた広告宣伝費の増加に加え、人件費や外注費の増加に伴う販売費及び一般管理費（販管費）の増加により1,796百万円（同11.0%減）となりました。

経常利益については、営業利益の減益に加え、持分法による投資損失の拡大（同455百万円増）を主因とする営業外費用の増加により1,269百万円（同35.3%減）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純損失については、経常利益の減益に加え、特別利益の減少や連結子会社である株式会社ソラミチシステムの当社保有株式の全てを連結子会社である株式会社カラダメディカに譲渡したことに伴い、その株式譲渡益に対する法人税関連の連結決算上の処理において現行の会計基準に照らし合わせ繰延税金資産および法人税等調整額の計上を見送ったこと等により、△1,094百万円（前年同期は1,780百万円の利益）となりました。

連結業績

(2020年10月1日～2021年6月30日)

	2021年9月期 第3四半期	2020年9月期 第3四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
売上高	19,504	19,492	+11	+0.1
売上原価	5,147	5,315	△167	△3.2
売上総利益	14,356	14,177	+179	+1.3
販管費	12,560	12,159	+400	+3.3
営業利益	1,796	2,017	△221	△11.0
経常利益	1,269	1,961	△691	△35.3
親会社株主に帰属する 四半期純損失（△）	△1,094	1,780	△2,875	—

販管費内訳

(2020年10月1日～2021年6月30日)

	2021年9月期 第3四半期	2020年9月期 第3四半期	増減	
			金額	増減率
	百万円	百万円	百万円	%
販管費総額	12,560	12,159	+400	+3.3
広告宣伝費	1,104	853	+250	+29.4
人件費	5,251	4,704	+547	+11.6
支払手数料	2,351	2,527	△176	△7.0
外注費	1,340	1,020	+319	+31.3
減価償却費	846	1,182	△336	△28.5
その他	1,666	1,870	△203	△10.9

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

①コンテンツ事業

コンテンツ事業には、女性向けヘルスケアサービス『ルナルナ』および医師相談サービス『カラダメディカ』以外のBtoC型の月額課金サービスのほか、BtoB型のコミック配信事業者向けにオリジナルコミック作品を提供しているオリジナルコミック事業等が属しています。

同事業の有料会員数は357万人（2020年9月末比31万人減）となりました。有料会員数の純減傾向は続いています。セキュリティ関連アプリ『AdGuard』の携帯ショップ経由での新規入会者獲得が好調に推移していることにより、有料会員数の純減幅は縮小傾向にあります。

売上高は、オリジナルコミック事業が過去最高売上となりましたが、前年同期対比で有料会員数が減少したことにより14,452百万円（前年同期比6.1%減）となりました。営業利益については、セキュリティ関連アプリ『AdGuard』向けの広告宣伝費の増加を主因に4,839百万円（同14.5%減）となりました。

②ヘルスケア事業

ヘルスケア事業には、『ルナルナ』および『カラダメディカ』のBtoC型の月額有課金サービスのほか、各医療機関や自治体向けに展開しているBtoB型およびBtoBtoC型のヘルスケアサービス（クラウド薬歴、オンライン診療・オンライン服薬指導、母子手帳アプリ等）が属しています。

同事業の有料会員数は66万人（2020年9月末比5万人減）となりました。一方、診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」の導入店舗数の拡大に最注力し、2021年6月末の同店舗数は633（2020年9月末比276増）となりました。

売上高は、前年同期対比で「クラウド薬歴」の導入店舗数拡大による初期導入売上高が拡大し、2,851百万円（前年同期比5.8%増）となりました。営業利益については、先行投資費用負担が続いています。1,008百万円の損失（前年同期は1,135百万円の損失）となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。

③その他事業

その他事業には、BtoB型のフィンテック事業、連結子会社のAutomagi株式会社で展開するAI事業、および法人向けソリューション（システム・アプリの受託開発）事業が属しています。

AI事業および法人向けソリューション事業の売上高が拡大したことにより、売上高は3,113百万円（前年同期比44.0%増）となりました。営業利益については36百万円の損失（前年同期は408百万円の損失）となり、売上高の増加が寄与し損失額は縮小しました。

（2）財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第3四半期末の資産合計は31,944百万円となり、2020年9月末対比1,396百万円増加しました。

資産の部については、流動資産では現金及び預金の増加を主因に1,474百万円増加し、固定資産ではのれん、顧客関連資産が減少した一方、主にソフトウェアの増加により78百万円減少しました。

負債の部については、流動負債では未払法人税等の増加を主因に1,499百万円増加し、固定負債では主に長期借入金が増加したことにより244百万円減少しました。

純資産の部については、配当金の支払いおよび親会社株主に帰属する四半期純損失として1,094百万円を計上した一方、主に非支配株主持分が増加したことにより141百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績拡大の牽引役として期待できるヘルスケア事業の売上拡大および赤字縮小に注力するとともに、コンテンツ事業ではセキュリティ関連アプリ『AdGuard』の有料会員数のさらなる拡大およびオリジナルコミック事業の拡大に取り組んでいきます。

中長期的に取り組んでいるヘルスケア事業は、将来の成長ポテンシャルが大きく、BtoC型に比べてお客様と長期間にわたり取引関係を構築することにより安定的なストック型ビジネスになり得るため、売上成長を実現できるよう様々な展開を実施しています。

特に診療報酬制度改定に伴い調剤薬局での導入意欲が高まっている「クラウド薬歴」については、ヘルスケア事業の持続的な売上成長に寄与できることから、協業先である株式会社メディパルホールディングスとの連携強化を行うとともに、調剤薬局向け大手システム会社との販売協業を進め、導入店舗数をさらに拡大させていきます。

また、母子手帳アプリ「母子モ」が導入されている自治体を中心に子育て関連サービスを拡充するとともに、「オンライン診療」・「オンライン服薬指導」の有償契約数の拡大および利用率の向上に向けた施策を行うことにより、中期的に利益貢献できるように取り組んでいきます。

なお、2021年9月期通期連結業績予想は、2021年5月12日に発表しました数値から変更はありません。

2021年9月期 通期連結業績予想
(2020年10月1日～2021年9月30日)

	百万円	前期比
売 上 高	25,500 ～ 26,500	(△2.2 ～ +1.6%)
営 業 利 益	2,100 ～ 2,500	(△16.2 ～ △0.3%)
経 常 利 益	1,600 ～ 2,000	(△23.2 ～ △4.0%)
親会社株主に帰属する 当期純損失(△)	△1,000 ～ △600	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,354,028	15,336,006
受取手形及び売掛金	4,840,902	4,361,198
その他	1,585,024	1,556,422
貸倒引当金	△36,222	△34,977
流動資産合計	19,743,732	21,218,650
固定資産		
有形固定資産	193,757	219,211
無形固定資産		
ソフトウェア	1,281,608	1,778,546
のれん	692,054	613,217
顧客関連資産	1,755,000	1,439,100
その他	35,437	39,275
無形固定資産合計	3,764,099	3,870,140
投資その他の資産		
投資有価証券	4,536,380	4,517,274
敷金及び保証金	493,882	348,549
繰延税金資産	1,766,869	1,684,299
その他	74,487	112,042
貸倒引当金	△25,824	△26,024
投資その他の資産合計	6,845,793	6,636,140
固定資産合計	10,803,650	10,725,492
資産合計	30,547,383	31,944,143

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,101,925	1,088,631
1年内返済予定の長期借入金	451,780	451,780
未払金	1,333,898	1,145,977
未払法人税等	701,022	2,057,281
賞与引当金	—	190,770
ポイント引当金	110,690	113,717
その他	1,067,387	1,218,010
流動負債合計	4,766,705	6,266,169
固定負債		
長期借入金	2,881,570	2,542,735
退職給付に係る負債	1,381,767	1,475,888
その他	6,756	7,230
固定負債合計	4,270,094	4,025,854
負債合計	9,036,799	10,292,023
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,138,116	5,184,607
資本剰余金	6,551,222	6,647,529
利益剰余金	10,707,058	8,734,517
自己株式	△3,283,663	△3,276,022
株主資本合計	19,112,733	17,290,632
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,897	272,002
為替換算調整勘定	△11,666	1,356
退職給付に係る調整累計額	46,010	41,662
その他の包括利益累計額合計	54,241	315,021
新株予約権	345,299	217,552
非支配株主持分	1,998,309	3,828,912
純資産合計	21,510,583	21,652,119
負債純資産合計	30,547,383	31,944,143

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	19,492,810	19,504,023
売上原価	5,315,484	5,147,613
売上総利益	14,177,325	14,356,410
販売費及び一般管理費	12,159,741	12,560,021
営業利益	2,017,583	1,796,389
営業外収益		
受取利息	117	80
受取配当金	10,130	—
負ののれん償却額	4,069	—
為替差益	—	16,140
助成金等収入	990	28,438
自己新株予約権消却益	—	21,424
その他	18,796	26,953
営業外収益合計	34,103	93,037
営業外費用		
支払利息	2,215	5,273
持分法による投資損失	66,909	521,996
為替差損	13,630	—
その他	7,654	92,678
営業外費用合計	90,409	619,948
経常利益	1,961,278	1,269,477
特別利益		
段階取得に係る差益	272,326	—
固定資産売却益	—	3,030
投資有価証券売却益	422,577	3,184
持分変動利益	—	80,082
特別利益合計	694,904	86,296
特別損失		
固定資産売却損	—	8,217
固定資産除却損	56,659	26,591
減損損失	25,302	76,949
投資有価証券評価損	1,631	11
特別損失合計	83,593	111,769
税金等調整前四半期純利益	2,572,588	1,244,004
法人税、住民税及び事業税	766,638	2,448,114
法人税等調整額	127,907	82,247
法人税等合計	894,546	2,530,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,678,042	△1,286,358
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△102,537	△191,607
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,780,579	△1,094,750

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,678,042	△1,286,358
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△280,633	222,592
為替換算調整勘定	△4,198	12,167
退職給付に係る調整額	4,712	△4,347
持分法適用会社に対する持分相当額	27,790	30,334
その他の包括利益合計	△252,328	260,748
四半期包括利益	1,425,713	△1,025,610
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,528,251	△833,970
非支配株主に係る四半期包括利益	△102,537	△191,640

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年10月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,234,080	2,594,108	1,664,621	19,492,810	—	19,492,810
セグメント間の内部 売上高又は振替高	165,081	99,969	497,607	762,659	△762,659	—
計	15,399,161	2,694,078	2,162,229	20,255,469	△762,659	19,492,810
セグメント利益 又は損失(△)	5,659,608	△1,135,689	△408,573	4,115,344	△2,097,760	2,017,583

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,097,760千円には、セグメント間取引消去14,499千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△2,112,260千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	25,302	—	25,302	—	25,302

(のれんの金額の重要な変動)

「コンテンツ事業」セグメントにおいて、株式会社TSUTAYAより『TSUTAYA ミュージコ♪』等の音楽配信事業を取得したことにより、当第3四半期連結累計期間にのれんが753,188千円発生しています。

また、「その他事業」セグメントにおいて、クラウドキャスト株式会社の株式を追加取得し、同社を連結子会社化したことにより、当第3四半期連結累計期間にのれんが621,933千円発生しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年10月1日至2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,312,915	2,718,303	2,472,804	19,504,023	—	19,504,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	139,538	132,766	640,912	913,217	△913,217	—
計	14,452,454	2,851,070	3,113,716	20,417,241	△913,217	19,504,023
セグメント利益 又は損失(△)	4,839,984	△1,008,234	△36,583	3,795,165	△1,998,776	1,796,389

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,998,776千円には、セグメント間取引消去△6,571千円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,992,204千円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	コンテンツ 事業	ヘルスケア 事業	その他 事業	計		
減損損失	—	—	76,949	76,949	—	76,949

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来経営資源の配分や業績評価を当社全体で行っていたことから「コンテンツ配信事業」を単一の報告セグメントとしていましたが、当連結会計年度より事業部・サービス区分等をもとに内部管理上の区分を見直したことに伴い、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「コンテンツ事業」、「ヘルスケア事業」、「その他事業」の3区分に変更しています。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分により作成したものを記載しています。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響)

前連結会計年度の有価証券報告書に記載した新型コロナウイルス感染症拡大の影響による会計上の見積りの仮定について、新たな追加情報の発生および重要な変更はありません。

(会社分割による子会社への事業承継)

当社は2021年5月21日開催の取締役会において、2021年10月1日を効力発生日として当社のヘルスケア事業の一部である母子手帳アプリ『母子モ』関連事業を、当社の完全子会社である母子モ株式会社（以下、「母子モ」という）へ会社分割（簡易吸収分割）することにより承継すること（以下、「本会社分割」という）を決議しました。

1. 本会社分割の目的

当社と株式会社メディカルホールディングス（以下、メディカルという）は、医療・ヘルスケア領域のICT化を普及・促進し医療・ヘルスケアプラットフォームの構築を実現することを目的に、協業を推進しています。2021年7月1日付で株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングスを設立し、当社または当社連結子会社のヘルスケア事業において、メディカルとの協業が進展している事業を同社に順次集約させていく方針です。母子手帳アプリ『母子モ』関連事業についてはメディカルとの協業度合いが高く、同社へ集約することを視野に入れていることから、当社の同事業を母子モに事業承継することとしました。

2. 本会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

当社取締役会決議	2021年5月21日
分割契約締結	2021年5月21日
効力発生日	2021年10月1日

(2) 会社分割の法的形式

当社を分割会社とし、母子モを承継会社とする吸収分割（簡易吸収分割）です。

(3) 分割する部門の事業内容

自治体向け母子健康手帳アプリサービスおよびオンライン相談等の企画開発および運営

(4) 分割する部門の経営成績

2020年9月期	売上高	89百万円
	営業利益	△334百万円

(5) 分割承継会社の概要

① 名称	母子モ株式会社
② 所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
③ 代表者の氏名	代表取締役 宮本 大樹
④ 事業の内容	自治体向け母子健康手帳アプリサービスおよびオンライン相談等の企画開発および運営
⑤ 資本金の額	10百万円
⑥ 設立年月日	2019年8月30日
⑦ 発行済株式数	200株
⑧ 決算期	9月
⑨ 大株主および持分比率	株式会社エムティーアイ 100%

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理します。

(重要な後発事象)

共通支配下の取引等

(株式移転による持株会社の設立)

当社は2021年7月1日付で、連結子会社である株式会社カラダメディカ(以下、「カラダメディカ」という)の単独株式移転により、ヘルスケア事業領域に係る中間持株会社として「株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス」(以下、「MTI-HC-HD」という)を設立(以下、「本株式移転」という)しました。

なお、本株式移転は、2021年5月12日開催の取締役会において承認決議されています。

1. 本株式移転による持株会社設立の目的

当社と株式会社メディパルホールディングス(以下、「メディパル」という)は、医療・ヘルスケア領域のICT化を普及・促進し医療・ヘルスケアプラットフォームの構築を実現することを目的に、協業を推進しています。両社での協業関係は多岐にわたっておりますが、両社の共同出資会社以外に当社または当社連結子会社のヘルスケア事業においても協業を行っている状況があり、より緊密かつ機動的に協業を推進していく観点から、中間持株会社を設立した上で両社の協業度合いの高い事業を集約させることが効果的であると判断しました。

2. 本株式移転の要旨

(1) 株式移転の法的形式

カラダメディカを株式移転完全子会社、中間持株会社であるMTI-HC-HDを株式移転設立完全親会社とする単独株式移転です。

(2) 本株式移転に係る割当ての内容(株式移転比率)

会社名	MTI-HC-HD (株式移転設立完全親会社)	カラダメディカ (株式移転完全子会社)
株式移転比率	1	1

① 株式移転比率

本株式移転に際して、発行済株式の全部を取得する時点の直前時における最終の株主名簿に記載されたカラダメディカの普通株式を保有する株主に対し、その保有する同社の普通株式1株につき設立する持株会社の普通株式1株を割当交付しました。

② 株式移転比率の算定根拠

本株式移転は、カラダメディカ単独の株式移転によって完全親会社である持株会社1社を設立するものであり、株式移転時の同社の株主構成と持株会社の株主構成に変化がないことから、同社の株主に不利益を与えないことを第一義として、同社株主が保有する同社の普通株式1株に対して持株会社の普通株式1株を割当交付することとしました。

③ 第三者機関による算定結果、算定方法及び算定根拠

上記②の理由により、第三者機関による株式移転比率の算定は行っていません。

④ 株式移転により交付する新株式数

普通株式 39,300株

(3) 本株式移転により新たに設立した会社(持株会社)の概要

① 名称	株式会社エムティーアイ・ヘルスケア・ホールディングス
② 所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
③ 代表者の氏名	代表取締役社長 立石 優子
④ 資本金の額	100百万円
⑤ 事業の内容	①子会社の経営管理 ②その他上記の業務に付帯する業務

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理します。

(会社分割による子会社への事業承継)

当社は2021年7月1日付で、当社のヘルスケア事業の一部である婦人科・産婦人科向け診療サポート「ルナルナメディコ」関連事業を、当社の完全子会社である株式会社ルナルナメディコ(以下、「ルナルナメディコ」という)へ会社分割(簡易吸収分割)することにより承継(以下、「本会社分割」という)しました。

なお、本会社分割は、2021年5月21日開催の取締役会において承認決議され、同日分割契約を締結しています。

1. 本会社分割の目的

当社とメディパルは、医療・ヘルスケア領域のICT化を普及・促進し医療・ヘルスケアプラットフォームの構築を実現することを目的に、協業を推進しています。2021年7月1日付でMTI-HC-HDを設立し、当社または当社連結子会社のヘルスケア事業において、メディパルとの協業が進展している事業を同社に順次集約させていく方針です。婦人科、産婦人科向け診療サポート「ルナルナメディコ」関連事業についてはメディパルとの協業度合いが高く、同社へ集約することを視野に入れていることから、当社の同事業をルナルナメディコに事業承継することとしました。

2. 本会社分割の要旨

(1) 会社分割の日程

当社取締役会決議	2021年5月21日
分割契約締結	2021年5月21日
効力発生日	2021年7月1日

(2) 会社分割の法的形式

当社を分割会社とし、ルナルナメディコを承継会社とする吸収分割(簡易吸収分割)です。

(3) 分割する部門の事業内容

婦人科・産婦人科向け診療サポート等の企画開発および運営

(4) 分割する部門の経営成績

2020年9月期	売上高	32百万円
	営業利益	△43百万円

(5) 分割承継会社の概要

① 名称	株式会社ルナルナメディコ
② 所在地	東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
③ 代表者の氏名	代表取締役 日根 麻綾
④ 事業の内容	婦人科・産婦人科向け診療サポート等の企画開発および運営
⑤ 資本金の額	10百万円
⑥ 設立年月日	2019年8月30日
⑦ 発行済株式数	200株
⑧ 決算期	9月
⑨ 大株主および持分比率	株式会社エムティーアイ 100%

3. 実施する会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 2019年1月16日)および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日)に基づき、共通支配下の取引として処理します。